

## 平成 30 年度 県立中央高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見等
1. 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か	[3] <b>A 妥当である</b> [2] B おおむね妥当である C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導の充実が、中央高校の評価を高めている。</li> <li>個に応じた進路指導、部活動の充実に期待したい。</li> <li>ほかに、「重点項目3の達成状況が『B』となっているが、自主的な参加促進も結果の広報も充分図られているので『A』でも良いと思われる。部活動実績を例年比で評価してしまっているのではないか。」などの指摘があったため、検討のうえ、自己評価表の評価を修正した。</li> </ul>
2. 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か	[2] A 妥当である [3] <b>B おおむね妥当である</b> C あまり妥当でない D 妥当でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科ごとに、目標達成のために先生方が尽力していることが分かる。</li> <li>教科横断的な課題を共有し、向上につなげてもらいたい。</li> <li>ほかに、「第3学年の『学力向上』が『D』となっている原因は『家庭学習の定着と課外への参加率の向上』だが、どの教科も『B』評価以上となっている。学年の判断と各教科の判断のすり合わせが必要ではないか。」などの指摘があったため、検討のうえ、自己評価表の評価を修正した。</li> </ul>
3. 学校は次年度への主な課題を把握しているか	[4] <b>A 十分把握している</b> [1] B おおむね把握している C あまり把握していない D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度への主な課題での記述から、それぞれの教科・部門で把握していることが分かる。次年度へ向けた効果的な改善策を明確にしてもらいたい。</li> </ul>
4. 学校の改善方策への対応は適切か	[2] <b>A 適切である</b> [2] <b>B おおむね適切である</b> [1] C あまり適切でない D 適切でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>年々、具体的目標と具体的方策の精度が高くなっており、先生方の意識の高さを感じる。それだけに学年が上がるにつれて目標値が少しずつ高まっていくような仕掛けを作るなどの方策をとると、さらに、学校全体が良くなっていくものと思われる。</li> <li>課題に向けて、先生方がきめ細やかな対応をしているのが分かる。</li> </ul>
5. その他（各学校の状況に応じて設定）		<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方がとても熱心に指導して下さっていると思います。</li> <li>目指す学校像の一つに「中学校からの信頼される学校」とあるので、部活動を中心とした交流等をより積極的に取り組んでいただければありがたい。</li> <li>学校の対応が迅速かつ機敏に行われ、素晴らしいと感じる。</li> </ul>

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。